

かわかみ

もっともっと 撒いて~~~~!



●主な内容●

大滝ダム10周年 山幸彦まつり・ ふれあいまつり 未来への風景づくり クラウドファン ディング第3弾 年末年始のお休み	16 ・ 17	4 ・ 6	2 ・ 3
---	---------------	-------------	-------------

川上宣言

一、私たち川上は、自然と一体となった産業を育んで山と水を守り、都市にはない豊かな生活を築きます。

(川上宣言は全部で5つの項目になります。毎号1項目ずつ掲載していきます。)

大滝ダム 管理開始 10周年

そして、この先の「未来」へつなぐもの

昭和34年、甚大な被害をもたらした伊勢湾台風を経験した川上村において、大きな国家プロジェクトとして53年間にわたる長い建設期間を要し、村での生活に大きな変化と影響を与えた大滝ダム。時を経て、大滝ダムは平成26年4月から管理開始され、主目的である治水・利水の役割を果たし、吉野川紀の川流域や奈良盆地の住む人々の生活を支えています。

揺れ動いた川上村。しかし、その中で得た出会い、つながり、「水源地の村づくり」への気づき、そして未来へつなぐもの。そんなことを改めて強く感じた10年の節目となりました。

11月19日（日）、やまぶきホールにて、「水源地川上村が生み出すダム・水・未来」というテーマで、大滝ダム管理開始10周年記念式典が開催されました。当日は、大滝ダム事業に関わってこられた多くの村民や関係者の皆さんが出席されました。

大滝ダム活用促進協議会長である栗山村長は歓迎の挨拶の中で、「大滝ダム10年の節目として、吉野川紀の川の流域がつながり・交流・連携を持ち、日本を代表するような流域に発展できるように村も大滝ダムと一緒に取り組んでいきたい。そして、この歴史を50年100年とつないでいきたい。」と話しました。

祝辞をいただいた皆さん



田野瀬 衆議院議員 山下 奈良県知事



堀井 参議院議員



栗山村長



廣瀬昌由 水管理・国土保全局長



中川靖志 紀の川ダム統合管理事務所長

竹村 公太郎 特定非営利活動法人日本水フォーラム代表理事
 内山 りゅう ネイチャー・フォトグラファー
 中川 靖志 国土交通省紀の川ダム統合管理事務所長
 栗山 忠昭 川上村長/大滝ダム活用促進協議会長

コーディネーター
 石田 紗英子 フリーキャスター



竹村氏



世界中の戦争やトラブルは水の問題がほとんど。そんな中、今回流域市町村の皆さんがたくさん集まったことは皆さんの関係が良好であることが感じ取れる。吉野の山々が受けた雨を大滝ダムが受けるというシステムがあり、必ず本来の目的に一致した観光が発展していくと思う。

第2部では、大滝ダムや川上村にゆかりのある皆さんをお迎えし、「湖面活用による今後の地域振興の展望」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

また、歴代の国土交通省近畿地方整備局河川部長の皆さんをはじめとする来賓の方々が多数出席され、代表して山下真奈良県知事、田野瀬太道衆議院議員、堀井巖参議院議員から祝辞をいただきました。

水源地の活動紹介・報告

かわかみ源流グループ統括の尾上忠大氏が水源地の活動紹介・報告を行いました。尾上氏は報告の中で、1996年に宮口侗廸早稲田大学名誉教授に書いていただき、現在も村是として大切にしている川上宣言の理念に沿って具現化を進めており、「未来」につなげていきたいということを強調しました。

未来を担う子ども達からの手紙

大滝ダム見学新聞コンクールにて、令和4年度の奈良県知事賞を受賞された香芝市立下田小学校5年生の牧浦楓七さん、令和3年度の大滝ダム活用促進協議会長賞を受賞された川上小学校6年生の榎田つつみさんが発表を行いました。榎田さんは、「大滝ダムへの見学でダムができた経緯を知り、こうしてできたダムだからこそ、もっと多くの人に大滝ダムを知ってもらい、活用してもらいたいと思う。」と発表されました。大滝ダムへの見学の中で見たこと、学んだこと、感じたことを手紙にし、立派に読み上げた2名に対し、会場は大きな拍手で包まれました。

未来を担う子ども達からの手紙



榎田つつみさん



牧浦楓七さん

水源地の活動紹介・報告



尾上 かわかみ源流グループ統括

閉会挨拶



常山修二 河川部長

内山氏



約10年前に三之公の撮影をさせていただいてから、川上村の虜になった。各地で「川ガキ教室」という環境教室を行っているが、この村には原生林があり、ダムがあり、源流館などの施設もあって環境教育に最適な場所であると思う。緑のダムとコンクリートのダムが共存している川上村のような場所が、今後どんどん増えていけば良いと思う。

中川氏



建設当初から観光や景観を意識し、住民や専門家にアンケートを取りながら進めてきた。今後は、EVなど新しい技術の活用や道路から湖面へのアクセスなどを工夫し、多くの人にダムの魅力に触れていただきたい。そして、さらに流域の人々のつながりを広め、多くの人を巻き込んで地域振興につなげていきたい。

栗山村長



大滝ダムの本来の目的である治水・利水については現在も立派に役割を果たしていると思っている。あとは知恵を寄せて観光と環境に取り組んでいきたい。川上村と大滝ダムは運命共同体である。まずは村民の皆さんが水源地の村を誇りに思うことが、村に来た人に感動を与えると考えている。

第34回 山幸彦まつり 第8回 ふれあいまつり

秋の祭典を合同開催！



今年もたくさんのお店がありました

11月5日(日)、やまぶきホールにて、「第34回山幸彦まつり」と「第8回ふれあいまつり」が合同開催されました。山幸彦まつりは、川上村の秋の実りと文化芸術を楽しむイベントであり、毎年盛大に開催されています。ふれあいまつりは、「未来への風景づくり」プロジェクトの一環として、協賛企業・団体の皆さんが「村民さん

とのふれあいの場を大切にしたい」という思いから始まったイベントです。例年はプロジェクトの舞台である旧白屋地区で開催されていますが、今年は山幸彦まつりとの合同開催として、会場を宮の平に移しました。

屋外会場では、山幸彦まつり実行委員会、各種団体やふれあいまつり協賛企業・団体による出店等の催しがあり、焼きそばや灰干しさんなどに行列ができていました。また、中央階段で行われ



遠くまで飛んでいけ！



今年も焼きそばに行列

た紙飛行機飛ばし大会には、大人と子ども合わせて約40名が参加しました。

ホール内では、長年村内等で活動が続いている、大正琴サークルはなみずき、コーラスグループ華音、高一歌笑楽団の皆さんが日頃の練習の成果を発表し、会場は大きな拍手で包まれました。

また、環境保全の意識ある行動を求める「しないでください」の啓発活動、そして山幸彦まつりで久しぶりのキャラクターショーに村内外からたくさんの子ども達が集まりました。



日頃の練習の成果を発表されました

展示ギャラリーでは、11月3日(金・祝)〜5日(日)にかけて村民作品展が開催されました。



手の込んだ作品が並びました

村内の園児・児童・生徒による作品、村民の皆さんが生涯学習教室や特技を活かした作品が会場いっぱい並びました。

まつりの最後には、久しぶりの「賞品付きお餅まき」が行われ、栗山村長の撒き始めを合図に1石5斗の餅が一斉に撒かれました。今回はふれあいまつり協賛企業・団体からの豪華賞品もあり、大勢の来場者で賑わいました。



撒かれたお餅は約7,000個！



「めぐる」「たべる」「つかる」 ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 水源地の村・かわかみ



白川渡オートキャンプ場を出発！

11月12日(日)、昨年引き続き川上村で2回目となる「ONSENガストロノミーウォーキングin水源地の村・かわかみ」が川上村観光協会主催で開催されました。

ガストロノミーウォーキングは、全国各地の温泉地を拠点に、その地域特有の「食」「自然」「歴史・文化」を1日で堪能するイベントです。川上村は県内唯一の開催であり、昨年度は参加者の満足度98%と「初開催地特別賞」を受賞しました。



自然の中で気持ちよくウォーキング

白川渡オートキャンプ場を起点に、歩いて6か所のポイントをめぐります。吉野杉トレーを削る体験から始まり、それぞれのポイントには観光協会や地域の皆さん、川上村とゆかりのあるさまざまな企業や学生のご協力のもと、柿の葉寿司、アマゴの塩焼き、にゅうめん、焼きそば、鹿肉シユラスコ、ゆず羊かんと火打ち餅に加え、吉野の地酒や紀の川流域のジュースがもてなされ、それぞれのペースで

ゴールをめざしました。

今回は、東は東京・西は長崎まで、全国さまざまな地域から122名の方が参加され、約7キロのコースを全員が無事に完歩されました。豊かな川上村の自然の中、気持ちよさそうに散策されている方や、地域の方とのふれあいを楽しまれている方の笑顔がとても印象的でした。

参加者アンケートの結果、総合満足度98%と、前回に続き大変高い評価をいただきました。また、「アマゴの塩焼きや紅葉している柿の葉寿司など、どの料理も工夫されていてとても美味しかった。」「いろいろな地域のガストロノミーウォーキングに参加しているが、川上村はスタッフが親切で距離が近く、とても温かく感じた。」「各ポイントでの料理の組み立てや距離感も丁度良かった。」と参加者からのコメントをいただきました。

ご協力いただいたすべての皆さま、本当にありがとうございました。



各ポイントで用意された特産品などのおもてなし



さらに、前へ

こと「平和」に関して言えば、あまり良い年であったように思えません。その言葉にはほど遠い1年でありました。ノーベル平和賞に決まったイラン人の人権活動家ナルゲス・モハンマディ氏は、収監先の刑務所で受賞の報に接したと言われます。虚しすぎます。ロシアがウクライナの強い反転攻勢を受けて戦いは泥沼化の様相であります。もちろん民間人の犠牲は増え続けています。全く治まる気配もなく、頼みの国連も機能していません。

一方、世界がせめて停戦協議の場をと大きな期待を寄せられている最中、長きにわたり燃り続けていた中東のイスラエルとイスラム組織ハマスによるもはや「戦争」とも言える大規模な軍事衝突が始まりました。イスラエルの圧倒的軍事力により、テレビの前には連日恐怖に怯える子どもたちの悲しい顔、大人たちの悲壮な叫び声が映し出されています。残酷すぎるも、そこには何もできない私がいまいます。あまりに悲しい。また、複雑なことに世界を支配する2つの大国が「ねじれ現象」をおこなっています。ここにきて「人質解放・戦闘休止」の合意の動きも、停戦への筋道はしめされていまいやうです。昨年の本紙5月号でも触れたように国連や国際社会は全く機能不全にあります。このことを尻目に、銃がミサイルになり、やがて恐ろしい核に。エスカレートするのが「戦争」なんです。今年も締めくくりに言葉は、政治家が最も心にすべき任務は「戦争を回避すること」であります。良いお年を。

未来への風景づくり

奈良交通(株) 記念植樹

大滝ダム事業に伴い、全戸移転を余儀なくされた旧白屋地区において、かつてこの地にあった人の暮らしのぬくもりを植栽を通して再生するために行われている未来への風景づくりプロジェクト。これまでに16企業・団体のご協力のもと景観づくりを続けてきましたが、奈良交通(株)にもご賛同いただき、11月24日(金)、記念植樹が行われました。

田中耕造代表取締役社長は、「奈良交通は創立80周年。『これからもずっと、地域とともに』というスローガンのもと、地域の未来に向けた事業に賛同できることを誇りに思う。」と話されました。



植樹を行う田中社長と阪口副村長

秋の

クリーンキャンペーン

11月27日(月)、29日(水)、30日(木)の3日間、役場職員が徒歩で村内7か所の清掃活動を実施しました。

村では令和4年4月から、水源地の村としてきれいな川や水を守るために、河川敷や山林周辺において①火気の使用、②ゴミの放置、③水を汚す行為を禁止する「しないでください!」の啓発を行っています。

村民の皆さんも、河川敷などで放置ごみを見つけた場合は、役場住民課(52・0111)までお知らせください。



合計約30キロを徒歩で清掃しました

やまぶきホール

おはなしカーニバル in 吉野2023

11月25日（土）、「よしのおはなしたのしネットワークのほほん」が中心となり実施している「おはなしカーニバル in 吉野2023」が開催されました。近隣町村のご協力のもと、今回で21回目の開催を数え、毎回たくさんの親子連れが訪れる大人気のイベントとなっています。

今回は、名古屋を拠点に世界中で活躍されている、人形劇団むすび座の皆さんによる「ともだちや」が上演され、村内外から105名の来場がありました。

来場された

村内在住の子どもから、「大好きな絵本のお話だったので、とても楽しかった。」との声をいただきました。



たくさん子ども達が集まりました

川上村民謡

フェスティバル

11月26日（日）、一般社団法人日本民謡民舞芸能協会主催「民謡民舞フェスティバル」が開催されました。武木在住で民謡師範の加賀谷富雄氏や上田良三氏のご尽力により村での開催が実現しました。

川上村に縁の深い「吉野筏流し歌」や「吉野木挽歌」を中心にさまざまな民謡や華やかな踊りが披露されました。三味線や尺八、小鼓などの和楽器の演奏もあり、会場に鳴子が配られ、エンディングでは「花笠音頭」で観客も一緒に唄い盛り上がりました。



川上村に縁の深い演目もたくさん披露されました

かわかもんがゆく。

—地域おこし協力隊活動記—



川上村の皆さま、初めまして！

今年、11月から地域おこし協力隊に加わった野一色将矢と申します。どうぞよろしく申し上げます。

経歴を簡単に紹介させていただきます。樫原市の高校を卒業後、アメリカで大学進学のために留学をしていました。しかし、自分が追求したい目標がアメリカにはないと感じ、昨年末に日本に帰国しました。樫原市に戻ってさまざまなバイトをしながら、便利屋として活動をしていました。

そんな生活をしていた中で川上村の太鼓と出会い、協力隊の先輩方との交流を通して川上村で何か挑戦できないかと思ひ、地域おこし協力隊への応募を決断しました。留学で培った英語力と便利屋としての活動経験を活かして、地域の皆さまに寄り添った活動を心がけていきます。太鼓の演奏は協力隊に入ってから継続し、川上村の太鼓の魅力を更に広めていければと考えています。川上村の魅力

や素晴らしいさを村外や国外にも広く発信していくことが目標です。

現在は、かわかみらいふで研修中です。主にならこプの宅配とやまいき市、時折移動スーパーの手伝いをしています。また、お目にかかる機会がありましたら、どうぞお気軽にお声掛けください！川上村でしかできない独自の活動を見つけ、自分ならではのアプローチで地域の発展のために尽力していきたいと思っています。

これからも川上村と共に新たな可能性を模索し、地域社会に貢献していけるよう精進してまいります。こんな新参加者ですがどうぞよろしく申し上げます。

野一色将矢（人知）



左が野一色将矢、右が地域支援員 奥田絵

CSWの
ちょっと
失礼します!



◆らくらく元気塾OB会同士の 交流会に学生が参加!

急に寒くなり、あつという間に冬です!お変わりありませんか?さて、地域の元

気をつくる自主活動「らくらく元気塾OB会」では、地区間や世代間の交流も盛んです。今回は、人知と井戸の交流会に、北九州市立大学の学生が飛び入り参加し、にぎやかな会となった様子をお届けします。

人知が井戸へ出向くかたちで企画された交流会は、お互いの活動紹介やふだんやっている体操と一緒にやるなどし、和気あいあいと進行しました。お弁当タイムとなったところへ、たまたまワールドワークに来ていた北九州市立大学生が飛び入り参加!昔の集落の様子や今のくらし、学生たちが学んでいることなど、話に花が咲きました。

その後、大モルック大会となりました。各集落、学生がチームに分かれ対戦。それぞれ高得点を狙いに行くも超接戦となり、盛り上

がりました。参加した学生からは「モルックを通じて無理なく楽しくやっていたのが印象的」「少しゲーム性を持たせることで、一体感の醸成につながりとてもいいコミュニケーションの場だった」といった声が聞かれました。日常を彩る、とても楽しい時間が作られたことを、学生のみなさんにも感謝したいと思います。



人知の皆さんは初めてのモルック大会に大興奮!



初めまして!自己紹介

歯磨きは何のためにしていますか?

10月31日(火)、川上中学校の生徒を対象に歯科保健指導に行ってきました。

今回のテーマは「歯磨きの目的」です。

歯磨きは、①虫歯予防、②歯周病予防、③口臭予防など、歯やお口に関する予防のためにしている方がほとんどですが、その他にも身体の病気、主に呼吸器感染症(風邪・インフルエンザ・コロナなど)の予防にも関連しています。

口の中は、菌の繁殖に適した環境であると言われ、さまざまな感染症のもとになる菌の入り口となっています。歯や口をきれいにする事で、流行性疾患と戦う抵抗力を養うことになります。

また、口腔周囲の筋肉や舌、表情筋を使うことで、唾液腺が刺激され、口腔内の自助作用が高まります。歯磨きと共に表情筋の運動、唾液腺マッサージなどで口腔内の清潔を保ちましょう。

言ってみましょう!

「買った 肩たたき機 高かった」

1セット3回×3回/日



健康福祉課 梅本・歯科衛生士 大前

教育かわがみ

第131回 教育長通信

◇義務教育学校開校に向けて 保育園・学校建設便り◇

かわかみテラス前の足場が取れ、軒裏の木目や大型ガラスで仕切られた開放感ある空間が見えるようになってきました。



テラスの軒裏

敷地内にあった現場事務所も移転し、いよいよグラウンド整備に入る段階となりました。そのひとつ目の作業として、仮校舎に設置していた遊具を新運動場に移設する工事が十月の終わりから始まっています。

移設に伴って現仮校舎の遊具が、無くなってしまふことになり、

子ども達には寂しい思いをさせることとなりますが、新校舎の新たな姿を楽しみにしていただき、乗り越えてほしいと思います。

遊具移設工事は十一月中旬に終了。今は主に内装工事を中心に工事を進めています。



移設中の遊具

◇文化財について

カモシカ（国の特別天然記念物）

10月15日（日）夕方、大滝区内で擁壁から滑り落ちてぐったりしているカモシカがいるとの連絡を

いただき、現場に駆け付けると、区民の方々が水や食料用の草や木

の葉を準備してカモシカを見守ってくださいっていました。「側にいてやらないと心細かろう。放っておけなくて。」との言葉に区民の優しさ、温かさを感じ、頭が下がりました。



衰弱したカモシカ

【カモシカを見かけた場合】

おとなしく、人に危害を加える動物ではありません。帰巢本能があり、山に帰っていくので、手を触れずに様子を見守ってください。一度人の手に触れると野生復帰ができなくなります。近づいたり騒ぎ立てたりして興奮させないでください。

【次のような場合は

教育委員会にご連絡ください】

◇12月1月の学校の動き

- ・交通の妨げになっている。
- ・衰弱して動けないでいる。
- ・死んでいる。

※動かさずにそのままにしておいてください。担当者が確認と調査を行います。

9 (火)	8 (月)	6 (土)	5 (金)	4 (木)	3 (水)	2 (火)	1 (月)	25 (月)	22 (金)	21 (木)	20 (水)	19 (火)	18 (月)	15 (金)	14 (木)	13 (水)	
3学期 始業式 合同職員会議		祝日 成人の日		村スキー教室		祝日 元旦		1月（睦月 むつき） 冬休み ～1月8日まで		2学期終業式		大掃除・給食最終日		食育講話		三者懇談会	
										三者懇談会		三者懇談会		三者懇談会		子供見守隊立哨指導	
														マラソン大会		生徒会選挙	
																小学校	
																中学校	

○6年合いの広場

10月27日(金)、6年生が、運動会で学んだ大切なことを、寸劇を交えて発表しました。思いやりが大切、仲間と協力すること、恥ずかしがらず一生懸命やることの3つを、とてもうまく表現し、下級生にもよく伝わりました。



○吉野郡陸上記録会

10月28日(土)、下市運動公園にて、郡内の小学生の陸上記録会が行われ、川上小学校からも6年生2名、5年生2名の計4名が出場しました。1000m走や1,000m走、ソフトボール投げ、リレーに出場し、精一杯の力を発揮しました。他校と競うことで、学びの多い貴重な体験になりました。



○秋の遠足

11月2日(木)、全校で秋の遠足をしました。午前は大迫ダム見学で、ダムの中のしくみを

見せてもらい、地域の水没の歴史を学びました。お昼は北和田探索や旧東小学校で五味区長さんから昔のお話を聞きました。午後は金剛寺で、弓場教育長から、お寺の説明や御朝拝式のお話を聞きました。天候に恵まれ、楽しい思い出が沢山できました。



○なかま集会

11月7日(火)、なかま集会が行われ、中東先生が海外視察で訪問された、イギリスの学校の様子を動画で紹介してくれました。日本の学校との違いが沢山あり、子ども達は驚いていました。海外でも多くのお友達がんばって勉強していることを学びました。



○奈良県青少年劇場

11月8日(水)、やまぶきホー

ルにおいて、アルパとフルートの演奏会が行われました。アルパとは南米の竖琴です。子ども達のよく知っている曲も演奏してくださり、とても親しみがありました。アルパに触れた子もいて、貴重な体験になりました。



○5年合いの広場

11月10日(金)、5年生が、「僕の主張」というテーマで、学校生活の中で大切にしたいことを、発表しました。一人一人がしっかりとした考えを持ち、それぞれを全員で寸劇にして楽しく表現できたので、見ている人にとってもインパクトのある発表になりました。



○校内マラソン大会

11月16日(木)、西河のさくら通りにおいて校内マラソン大会が行われ、1・2年が1,000m、3・4年が

1,500m、5・6年が2,000mをそれぞれ走りきりました。10月末から毎朝かけ足練習で鍛えてきたので、ずいぶん体力がつかまりました。みんなの声援に後押しされて、全員元気に走ることができました。



○4年合いの広場

11月17日(金)、4年生が理科で学んだ電気のはたらきを発表しました。果物電池や備長炭電池、手回し発電機で発電し、モーターを回してものを動かす様子を見せてくれました。楽しい実験に子ども達は興味津々でした。



※合いの広場とは、「話し合い、認め合い、深め合い、高め合い」の力を育てるために、朝に設けた発表の時間です。各学年、年2回ずつ発表します。

図書館だより

年末年始の開館と特別貸出について

12月29日（金）～1月3日（水）までの間は休館いたします。年始は1月4日（木）からの開館となります。休館中の図書の返却は、総合センター入口の返却ポストをご利用ください。

また、休館に伴い特別貸出を実施します。12月15日（金）～12月28日（木）までの期間はひとり10冊、4週間貸出できます。ぜひご利用ください。

図書館カレンダー

●色の日が休館日 ●

	日	月	火	水	木	金	土
❖						1	2
12	3	4	5	6	7	8	9
月	10	11	12	13	14	15	16
❖	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

	日	月	火	水	木	金	土
❖		1	2	3	4	5	6
1	7	8	9	10	11	12	13
月	14	15	16	17	18	19	20
❖	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

図書と雑誌の処分市 ご来場ありがとうございました！

11月4日（土）～5日（日）の山幸彦まつりの二日間「図書と雑誌の処分市」を行いました。処分市に並んだのは、保存期間の過ぎた雑誌や、長年の利用による破損や内容が古くなってしまった等の理由で除籍した図書です。多くの方が足を運んでくださり、図書の有効活用につながったのではないかと思います。

図書館前の廊下では児童・生徒による読書感想画やおすすめしたい本の紹介文を展示し、壁面ににぎやかに彩りました。この展示は今月いっぱいまで行いますので、総合センターにご来館の際はぜひご覧ください。



【予告】お正月のお楽しみ！“本の福袋”

知る人ぞ知る？毎年恒例の企画「本の福袋」を1月に実施予定です。テーマごとに司書が選んだ本3冊を中身が見えないように詰め合わせた福袋です。今まで手に取ったことのなかった新たなジャンルや作家に出会えるかも？

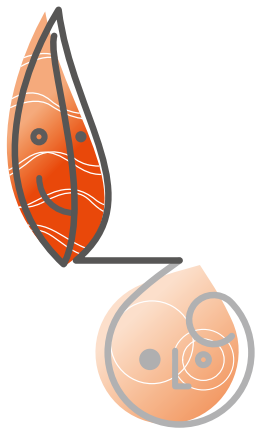
新年の「初読み」をお楽しみください。

【問い合わせ先】 村立図書館 TEL 5 2 - 0 1 4 4

ホームページURL : <https://www.vill.kawakami.nara.jp/life/library/>

ホームページにつながります→





森と水の源流館だより

December, 2023 vol.253

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)

昔の道具 其の九

「あんか／あんこ」…炭火炬燵。六角柱状の木枠内の火鉢が水平を保つようになっていて、炭がひっくり返らないように工夫されている。



約10年前に当館が聞き取りした民俗調査の記録から“集落の景観”や“日常の風景”を中心に紹介します。引き続き皆様からの情報もお待ちしております。

川上村の暮らしの風景 上多古より

[年中行事について]

12月31日くらいの昼から正月の準備をする。7日の山の神さんまでは注連縄やツツミゴクはしておく。広い庭のある家や宮さんやお寺では門松をした。宮さんはその年の神主さん、寺は檀家の当番の人がこしらえた。1月1日から3日の間には初詣りをする。除夜の鐘を聞いたら我先に大歳神社へ参る。昭和34～35年頃は人が大勢来て賑やかだった。餅は三方の上に半紙を敷き、その上にカサネゴクを置く。ゴクの間には薄い昆布を挟む。上には葉付きの柑子をのせる。ツツミゴクといって半紙の上に餅を重ね、そのうえに柑子を置き、包んで上をちょっとひねったものを家の神さんや流し、テレビの上、使っている道具のところなどにお供えした。1月14日にトンドをした。今は日曜日になった。お餅をもっていき焼いたりした。トンドの火にあると風邪をひかないといった。トンドの燃え残りを持って帰ってその日で提灯をあげた。

節分はイワシの頭に箸をさしてメツキバラと重ねて玄関やトイレなどにさしておく。メツキバラは鬼の目をさすという。豆まきは外に向かって「鬼は外」を3回言って豆をまき、家の中では「福は内」と3回言って豆をまく。その後「メンキョウニ」とまた3回言って豆をまいてから、恵比寿さんに豆を入れた枡をお供えして5分おいてから、また「鬼は外」に始まり同じことを3回繰り返す。「メンキョウニ」が何を意味するかは知らない。

七日盆といって7日に野菜の初成り（トウモロコシ、キュウリ、ナスビ、カキ、ホオズキなど）を供えて、その日のうちに川に流した。13～15日の盆の時にも、15日に供え物は川に流した。7日と13日に墓参りに行く。8月18日ぐらいに盆踊りをする。費用は青年団が1軒1軒まわり寄付を集めた。音頭台を組んで、中で太鼓をたたく。祭文踊りとさし踊りというのがあり、祭文踊りの掛け声は「ヤレトコシャンセ ドッコイショ」、さし踊りは「ドッコイショ コレワイショ サーサレトレセー エー ヨイコラショ」というものだった。踊りは朝まで続いた。八朔は9月1日に若宮さんで。祭りの担当は3区（上多古、柏木、北和田）順番に行き、宮さんでゴク撒きをする。この日の夜に八朔踊りをする。内容は盆踊りと一緒である。

9月15日はハウジョウインの祭りで若宮さんです。3区合同の祭りである。八朔の祭りより大きい祭りになる。北和田の若い人がゴク台に餅を乗せて「ワッショイ、ワッショイ」と音頭をかけながら宮さんまで行き、境内を練り歩く。祝詞をあげてから、その年の神主さんがゴク撒きをする。たくさんの方が祭りに来ていた。柏木の方が店を出したり、くじ引きをした。

平成18～19年度上多古集落を対象に4名から聞き取った記録より抜粋

かわかみ源流ツーリズムの 「ひとめぐりかわかみ」



10・11月実施の体験プログラム

10月22日「星空案内人と『オリオン座流星群』を観よう」

「座流星群」を観よう

空気が澄み、星がより一層輝く季節になりました。この日はオリオン座流星群の極大日。県内だけでなく大阪や京都からの参加者が集まりました。

寝転がって流れ星を見つけたら、望遠鏡で月のクレーターや土星の環を見てみると、川上村の夜空を満喫しました。

11月11日「秋限定！紅葉の柿の葉寿司を作ろう」

柿の葉寿司の里かわかみの徳岡さんを講師に、紅葉した柿の葉が美しい季節ならではの柿の葉寿司を作りました。

「包み方がわかりやすかった」「明日食べるのが楽しみ」と好評でした。



コツを教わり、上手に包めるようになりました

ウォータースポーツ大集合！

かわかみマルシェ 開催！！

11月12日、村内で活動している3つのアクティビティ事業者と協力し、カヤック、パックラフト、ダッキーの中から1つを選んで体験できるイベントを開催しました。

朝から曇り空の怪しい天候でしたが、ファミリーを中心に幅広い年代の方々60名が体験をしてくれ

ました。「景色も良くとても楽しかったです！説明なども丁寧にしていただき安心して体験できました」「楽しかった。またいつぱい乗りたい。20分が一瞬に感じられた」と、嬉しい感想もたくさん。カラフルな乗り物がおおたき龍神湖を彩りました。



湖面にさまざまな乗り物が浮かびました

事務所前で開催した「かわかみマルシェ」では、川上村の特産品や鮎の塩焼き、パンや漬物物など、10店舗が出店しました。少し肌寒い中、あったかいこんにゃくや焼き芋にほっこりしたり、この日限定の「出会い」を楽しんでいただきました。

出店いただいた村民さんからは「普段出会えない方に商品の『味』や『良さ』を知ってもらえていい機会になった」と、嬉しいお声もいただきました。



マルシェではいろんな出会いがありました

☆プログラムの様子は、かわかみ源流ツーリズムのユーチューブでご覧いただけます。

【問い合わせ先】

かわかみ源流ツーリズム

TEL 52・0333

営業時間 9時～17時(水曜定休)

かわかみ
源流ツーリズム
ウェブサイト



クラウドファンディング第3弾実施中！

川上村では、吉野林業発祥の村にふさわしい木材をふんだんに用いた、ぬくもりのある義務教育学校と保育園を建設中です。

ここには、義務教育学校、保育園や学童保育所などの子育て支援施設を集約し、これらをつなぐ役割として、川上村のすべての子育て親子が集うことのできる「子育て支援の場」を作ります。

大型遊具を中心とした子どもや人々が繋がる「かわかみテラス」、休日にも子育て世帯に開放される「やまぶき保育園」、子育て支援の場である「こどもセンター」などを一体的にまとめた子育て支援の空間づくりに取り組んでおります。

その中でも、大型遊具や保育園庭の一体的整備のため2,000万円の支援をお願いします。

これまで2回実施してきた「ふるさと納税型クラウドファンディング」の第3弾・最終回として、令和6年1月12日（金）までの期間で村内の皆さまや全国の方々の応援（寄付）を募っております。是非、皆さまの応援をよろしくお願いいたします。

「ふるさと納税型クラウドファンディング」とは、ふるさと納税とクラウドファンディングそれぞれの特性を活かして、応援したい地域を支援できるように作られた仕組みです。

※川上村にお住まいの方は、税額控除のみとなります。

<クラウドファンディング専用サイト>

次のURLをインターネットに入力するか二次元コードをスマホで読み込むと専用サイトにつながります。

URL：https://qr.quel.jp/pv.php?b=46TJrf9

村民の皆さまをはじめ、村外にお住まいのご家族、同級生、ご友人にも村の学校づくりの取り組みを知っていただき、みんなで一緒に学校を創っていきたいと考えています。

応援よろしくお願いいたします！

二次元コード→



【問い合わせ先】 総務税務課 TEL 5 2 - 0 1 1 1

源流の日カレンダーを販売します！

川上村では、健全な水循環の形成と豊かな自然の恵みを未来に引き継ぐため、平成26年第34回豊かな海づくり大会が本村で開催された11月16日を「源流の日」と定め、その想いを受け継いでいます。川上村の豊かな自然がもたらす恩恵に感謝し、忘れないために作成したカレンダーを販売いたします。

販売開始日 令和5年12月11日（月）から

価 格 1冊500円

販売場所 役場・ホテル杉の湯・森と水の源流館・匠の聚・
かわかみ源流ツーリズム・かわかみらいふ

【問い合わせ先】 水源地課 TEL 5 2 - 0 1 1 1

「マイナ商品券」「はつらつ応援券」有効期限のお知らせ

「マイナ商品券」のご利用は、
令和6年2月10日まで



「はつらつ応援券」のご利用は、
令和6年2月28日まで



有効期限を過ぎると無効となり、ご利用いただけません。ご注意ください。

※まだお受け取りいただけていない方は、役場（マイナ商品券は住民課、はつらつ応援券は健康福祉課）までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 住民課・健康福祉課 TEL 5 2 - 0 1 1 1

消防署からのお知らせ

救急車、消防車が近づいてきたら！

交通の安全を確保するために、道路交通法では、車が一時停止しなければならない場所や場合がいくつも定められています。

○一時停止しなければならない場所

- ・踏切
- ・道路標識等で一時停止すべきことが指定されている交差点
- ・横断歩道等に横断歩行者等がいる場合・・・など



奈良県広域消防組合では救急車や消防車などの緊急車両は、緊急走行（サイレンを鳴らし赤色灯を点灯して走行）していても、上記の場所や場合に差しかかった際は一時停止し安全を確認してから進むように心がけています。同様に、交差点に差しかかった時は、赤信号であれば一時停止し交差点内の安全を確保してから走行するように心がけています。

○なぜ一時停止するのか

近年の自動車は遮音性に優れており、またオーディオ機器の性能向上により緊急車両に気づかないことがあるため、交差点手前では一時停止し安全を確認しています。横断歩道では目や耳が不自由な方、イヤホン装着して走行している方など緊急車両の接近に気づかないことがあるためです。

一時停止により、事故無く安全・確実に災害現場、搬送病院に到着することができるからです。

○お願い

もし、緊急走行している車両が交差点や横断歩道手前で一時停止しているのを見かけたら、緊急車両が通過するまで停止していただきますようお願いします。

皆さまのご協力で「安全・確実・迅速」に災害現場に到着することができ、患者さんを搬送することができます。ご協力よろしく申し上げます。

【問い合わせ先】 奈良県広域消防組合 吉野消防署 TEL 0 7 4 6 - 3 2 - 1 0 1 1

◆年末年始営業日のお知らせ！

今年も残すところあとわずかとなりました。たくさんのご利用ありがとうございました。来年もまたよろしくお祈いします。

年末年始の営業は以下のとおりです。ご確認とご理解のほどよろしくお祈いします。

●移動スーパー

12/29 (金)	30 (土)	31 (日)	1/1 (月)	2 (火)	3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	7 (日)	8 (月)
通常営業	休み									通常営業

●コープ宅配

12/25 (月)	26 (火)	27 (水)	28 (木)	29 (金)	30 (土)	31 (日)	1/1 (月)	2 (火)	3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	7 (日)	8 (月)
12月最終回分の配達					休み	迎春商品の配達	休み						通常営業	

●かわかみSS

12/29 (金)	30 (土)	31 (日)	1/1 (月)	2 (火)	3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	7 (日)	8 (月)
通常営業	休み					営業 7:30～18:00		休み	通常営業	

※灯油配達は12月28日(木)まで。混雑も予想されますので早めにご準備ください。

また、お電話いただいた当日の配達はお受けし兼ねますので、早めの配達予約をお願いします。

灯油配達：070-2021-3411

●やまいき市

年内は12月17日(日)の営業で終了、来年は3月下旬ごろに再開予定。

※白菜や大根など野菜の個別注文を受付いたします。お気軽にお問い合わせください。

診療所からのお知らせ

【整形外科診察日】

と き 1月10日(水)

受付時間 午前8時30分～11時30分

【巡回診療日】

と き 12月26日(火)

受付時間 午後2時～3時30分

ところ ふれあいセンター(北和田)

※受診される方は保険証をご持参ください。

【新型コロナウイルスワクチン接種による休診日】

と き 12月14日(木)

【問い合わせ先】 川上診療所 TEL 52-0344



てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

選者吟

満月や遠つ国今日も戦にて

佳作 昨夜降りて朝の山々霧のぼる
父と子の作業はかどる鴉日和
走り根と落葉踏みつつ山歩く

新子谷生子(北和田)
前田 景子(大滝)
松本 全代(大滝)

評 秋には物思いにふけることが多い。作者は八十歳になり、長寿を祝うよりも、口論をしたり、慰め合ったりの夫婦の年月の深さをしめしめと回顧しておられる姿を想像する。

特選 諷ひつらり合ひつ秋八十路

上田 一郎(伯母谷)

評 陰曆九月十三日の夜の月は名残の月ともいわれ、澄み切った空に寂しげに光っている。やっと出てきた月を待ちこがれた作者の姿がそこにある。随分寒さも増して、ゆつくりと月を愛でるよりも、一句にまとめられた作者がそこにいる。

特選 後の月低く輝く宵の内

辻井 清子(大滝)

評 秋の祭りは農業の収穫を祝う神事である。多分神馬も駆り出されたのであろう。その神馬は雰囲気を感じて、おとなしく頭を垂れており、勇ましさを感じられない。のんびりとした、田園の秋祭りの景を詠まれている。

特選 秋まつり神馬ゆるりと頭垂れ

望月 彰美(迫)



川上俳句会

森井美知代選

年末年始の各施設・行政サービスのお休みについて

- ◆役場 ◆シルバー人材センター ◆診療所
- ◆村立図書館 ◆あきつの小野スポーツ公園
- ◆教育委員会 ◆社会福祉協議会
- ◆かわかみワーク ◆森と水の源流館
- ◆かわかみ源流ツーリズム ◆匠の聚
12月29日(金)～1月3日(水)
- ◆吉野かわかみ社中 ◆木工センター
12月29日(金)～1月4日(木)
- ◆大滝ダム学べる防災ステーション
12月21日(木)～2月29日(木)
- ◆歯科診療所
12月27日(水)～1月4日(木)
- ◆ふれあいセンター
12月30日(土)～1月7日(日)
- ◆中井溪谷自然塾
12月28日(木)～1月3日(水)
- ◆井氷鹿の里
予約が入っていれば営業
- ◆白川渡オートキャンプ場
- ◆大迫ダムづり公園
年末年始無休

- ◆不動窟鍾乳洞(喫茶ホラ!あな)
12月25日(月)～1月5日(金)
※12月～3月1日は土日祝のみ営業
- ◆ホテル杉の湯
●日帰り入浴
12月31日(日)～1月3日(水)
●レストラン山吹
1月1日(月)
- ◆道の駅 年末年始無休
※1月1日(月)は10:00～16:00で営業
- ◆やまぶきバス
12月31日(日)～1月3日(水)
※29日(金)・30日(土)は土曜ダイヤ
- ◆ゆうゆうバス ◆ニコニコ号
12月29日(金)～1月3日(水)
- ◆ごみの収集等
●収集 収集カレンダーどおり
●さくら美化センターへの持ち込み
12月29日(金)～1月3日(水)
※1月4日(木)の持込は12月28日(木)までに予約したものに限り

お誕生日おめでとう！「ますます元気に大きく育ってね」

3歳おめでとう！！
いっぱい遊ぼうね☆



さとう かずま
佐藤 百真くん(白川渡)
(令和2年12月16日)

3歳

大きく育ってくれて、ありがとう。
もりもり食べる姿が大好きだよ！
ゆっくりとアレルギーを
克服していこうね！！



ながお ゆきとし
永尾 幸敏くん(白川渡)
(令和3年12月2日)

2歳

HAPPY BIRTHDAY

かわかみの生き物



カジカ(大卵型)

川の瀬にサデ網を据え、1メートルほど上流から河床の小石や礫をバタバタ踏みつけ魚を網へ追い込む。網を上げると丸く愛嬌のある顔の魚がこちらを見ている。川上村に生息しているカジカは河川陸封型に分けられ、卵のサイズが大きいことから大卵型と呼ばれる。筏流しのための川底浚いによってカジカが利用しやすい河床が維持されていたため、かつては相当な数が獲れたようだ。身は美味しく良い出汁が取れるのと、卵はアマゴの釣り餌に使われていたことから、川上村の暮しに縁深い魚であったことがうかがえる。

村の人口

11月30日現在			
人口総数	1,236人 (+1人)		
男	593人 (±0人)		
女	643人 (+1人)		
世帯数	737世帯 (-1世帯)		
11月中の異動			
転入	3人	転出	2人
出生	0人	死亡	0人



川 広報かわかみ 令和5年12月11日発行
発行 奈良県川上村／編集 川上村広報編集委員会
〒639 3694 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7
TEL 074615210111
ホームページアドレス http://www.vill.kawakami.nara.jp
メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp